ビギニングアイドル おためしセッション用ショートシナリオ
「俺たちのファーストステージ」

●シナリオスペック
・PC 人数:3～4 人
・アイドルランク:アイドル候補
・プレイ時間:2～3 時間
・ワールドセッティング:はじめてのライブ
・ライブ会場:剣菱シティホール
・キーパーソン:音城ミツル
判断基準:ドラマフェイズのステージへ上がれたキャラクター
指定能力値:【ボイス】
説得値:10
・目標動員数:120(プレイヤーが 3 人の場合は 100)
・意地ルール:あり
※時間短縮として、ドラマフェイズを1フェイズにし
2 フェイズ目を全員同じ項目で判定しています。
またファン獲得チャンスを小分けにし、ファンを増やしやすくなっているため、目標ファン数を若干増やしています。

●NPC
音城ミツル(おとしろみつる) 19 歳・男性
プロダクション所属のギタリスト。174cm、猫目のやせ型。
陽気で人懐っこい性格で、まだ若いですが音楽歴は長い先輩です。アイドル部門の設立を見守り、あなたたちの活動を応援してくれます。
幅広い作曲の才能を持ちますが、作詞センスは絶望的。
また、アニゲオタなのでアニソンにやたら詳しいです。
代表曲はギターロック曲「ステラゲイザー」。

●スタート時点での PC たち
アイドルオーディションに受かったばかりの、アイドル研修生です。
ここでの頑張りによって、デビューできるか否かが決まります。

●オープニングフェイズ
都内に設立された音楽プロダクション「《プロダクション名》」。
バンドをメインとしていたこの事務所ですが、この度新しくアイドル部門を設立する運びとなりました。
あなたたちはスカウトやオーディションで集まり選ばれた、プロダクション最初のアイドルです。
緊張した空気の中、プロデューサーが登場し自己紹介します。
P「はじめまして、私がこれからあなた達のプロデューサーを勤めます、■■■(P 名)です。よろしくね」
P「それじゃあ、まずは自己紹介をしてもらいましょう。名前、年齢、それから特技なんかも知りたいな」

・名前、年齢、志望動機を聞いたあと、プレイヤーは一芸突破を行います。
→メンタル 1D6 減少
→個性特技と目標値で 2D6 判定
※協調値によっては＋1になることを忘れずに。
→成功なら 1D6 ファンが増える

プレイヤーたちのユニット名を決めます。話し合って、決まらなければダイス表を。続いてリーダーを決めます。
また、カバーする曲をひとつ決めます。(具体名が上がらなければ「オーディションで使用した曲:ステラゲイザー」とする)
PC たちはそれを課題曲として、各々練習することになります。

●ドラマフェイズ
メンバーは練習を続けながら、プロモーション活動を行います。
→おのおのパートナーをひとり指名
→下記仕事表を振り、判定を行います。
→成功なら 4D6 ファンが増える

《アイドル入門仕事表》
11 オフ
12 走りこみ【体力/才能 6】
13 挨拶回り【物腰丁寧/キャラ 10】
14 ウィンクの練習【キュート/属性 6】
15 モデル歩き【180/身長 11】
16 基礎体力作り【運動神経/才能 8】
22 オフ
23 スタジオで録音【集中力/才能 4】
24 笑顔の練習【笑顔/才能 7】
25 リハーサル見学【マイペース/キャラ 4】
26 発声練習【バーニング/属性 10】
33 オフ
34 控え室訪問【気配り/才能 9】
35 ダンス練習【ダンス/趣味 9】
36 衣装選び【おしゃれ/趣味 5】
44 オフ
45 撮影見学【プレーン/属性 7】
46 作曲のお手伝い【音楽/趣味 11】
55 オフ
56 ボイストレーニング【元気/キャラ 8】
66 オフ

1 フェイズが終わったところで、NPC が登場します。
P「お疲れさま。お客さんが来ています。挨拶をしてあげてね」
事務所に訪れたのは、人懐っこそうな猫目に金髪の、ギターケースを背負った青年でした。
→必要に応じて、GM は PL に文末の添付イラストを提示します。こんな人ですよーという感じで
ミツル「こんにちは。顔を合わせるのは初めてだね、君たちの話はうわさに聞いてるよ。俺は君たちと同じプロダクション所属のギタリスト、音城ミツルっていうんだ。一応、先輩になるかな。よろしくね」
PC と挨拶を交わし、ミツルは言います。
ミツル「早速だけど、これからミニライブがあるんだ。俺はサポートとして入るんだけど、前座がもう一組欲しい。サプライズゲストとして、ライブをやってみる気はないかな」
PC のリアクションを聞き、話を続けます。
P「演目はみんなの知っている曲を一曲カバーしてもらいます。課題曲がありましたね」
→オープニングで決めた曲名をあげます。
ミツル「その曲なら弾ける。それじゃあ、頼んだよ。俺は先に会場へ行って話を通しておくから」
ニッコリと笑って、ミツルはその場を離れます。
P「突然の依頼ですから、リハーサルの時間はありません。賭けになりますが、これはチャンスです。小さい会場だけれど、あなたたちの存在を知ってもらう最初の一歩になるはず。とにかく会場へ向かいましょう」
一同は迷う間もなく、車で会場へ向かいます。
歓声の響くステージ。狭い控え室に通された一同を衣装に着替えたミツルが待っていました。
ミツル「待ってたよ。ようこそ、今日は一緒にがんばろう」

P「ぶっつけ本番になるけれど、頑張りましょう。あなたたちなら、きっとやれます」
用意されたライブ T シャツを着て簡単なメイクを済ませた一同は、Pの言葉に背中を押され、スポットライト輝くステージへ。

・プレッシャー 3D6 を振りメンタルを引きます。ここでゼロになった PC は、緊張でステージに上がれません。
→メンタルが残っている PC は舞台へ。

ミツル「ようこそ、《プロダクション名》のステージへ！　今日はみなさんに、我がプロダクション・初の素敵なアイドルたちを紹介します！」

・ここで PC は一芸突破を行う
(特別ルールとしてメンタルはここではマイナスしない)
→成功したら 1D6 のファンを獲得する。
→判定に成功したら任意のキャラクターの理解度を一点上げます

ミツル「オーケー、名前は覚えてくれたかな？　これからきっと大きくなる奴らだから、デビューに立ち会ったって将来自慢できるぜ！」
ギターのイントロが鳴り響き、ライブは開始します。

・PC はパートナーを指名し、一人ずつ【音楽/趣味 11】で判定を行います。
→成功したら 3D6 のファンを獲得する

熱気に包まれて、一曲だけのステージはあっという間に終了します。
ミツル「ありがとう！　それじゃあリーダーから、なにか一言」
・リーダー役の PC から一言をもらいます。

ミツル「というわけで、《ユニット名》でした！　ありがとー！　俺たちの後輩、これからよろしくね！」

歓声を浴びながら、一同はステージを後にします。
控え室で休んだ後、メンバーは帰路につきます。一言感想や意気込みを聞いてもいいでしょう。
→特別ルールとして、ここでメンタルは初期値に戻ります。

●作詞シーン
後日、事務所についた一同はスタジオへ行くよう指示されます。
スタジオではギターを抱えたミツルが待っていました。
ミツル「この間はお疲れさま。みんなとステージで歌えて、とっても楽しかったよ」
PC からの挨拶、感想を聞いた後に P が切り出します。
P「ライブのご縁もあって、正式にミツルさんに曲を作ってもらうことになりました。あなたたちのための、本当のデビュー曲を」
ミツル「君たちのステージを見て、あらためて先輩として君たちを応援したいと思った。これから、君たちにふさわしい曲を見極めるためのテストを行わせてもらう。難しくはない、みんなの声を聞かせてもらうだけだ。ただし、昨夜のライブで怖じ気づいてしまうような奴には遠慮してもらう。これからもっと、厳しいステージが待っているからね」
ミツルは持っていたギターをかき鳴らします。
ミツル「さぁ、聴かせて！　君たちの魂を！」
・ 前フェイズでステージに上がれた PC は判定を行います。
　ミツルの説得値は 10 です。
→【ボイス】の数だけダイスを振り、パフォーマンスを順番に行います。
→理解度が 1 点でもあればシンフォニーが可能です。

・1 人でも 10 点を越えた場合、作詞を行います。
ミツル「君たちの声は心に響いた。やっぱり君たちは、とても面白い。人の心を揺るがす、いいアイドルになるよ」
そう言ってミツルはギターをかき鳴らし始めます。
(P は判定に成功したキャラクターやユニットのイメージに合った曲調を、PL に伝えてください)
ミツル「楽しい。フレーズがどんどん浮かんでくる。さぁ、詞は君たちが考えて」
→成功した PC の数だけ、作詞表を振る。
→タイトルは完成した詞をもとに、全員で考える。

ミツル「素敵な曲ができたね。演奏には俺も参加させてもらう。一緒にがんばろう。俺も君たちのファンになったよ」
→すべての PC はファンがひとり増加します。
→ライブフェイズへ。

・誰も成功しなかった場合、オリジナル曲は完成しません。
ギターを奏でる指が止まり、ミツルはつぶやきます。
ミツル「ごめん。何も浮かんでこなかった。これから先いろんなことがあると思うけど、相手の心を動かせないようではこの世界を生きるのは辛いよ。本当にこのままで大丈夫だと思うのか？」と辛辣なコメントを残します。
「悪いけど曲は作ってあげられない。あのときステージで奏でたように、もう一度魂の歌を聴かせて。そしたらまた、一緒に曲をつくろう」
→そのままライブフェイズへ。

●ライブフェイズ
さらに月日は流れ、ついにデビューライブの日が迫ります。
→衣装を決めます。好きな衣装を選ぶか、ダイスで決定。
P「みんな、衣装とライブの演目が決まりました。セットリストに目を通しておいてね」
→セットリストを PL に提示します。最終演目には完成した曲のタイトル、もしくははじめに決めた課題曲を書き込みます。

準備を終えたら、いよいよライブが始まります。
→前半は 2D6 のプレッシャーを受けます。
→出演しない PC は演目ごとに 1D6 のメンタルを回復します。
→演目ごとの指定特技で判定
→成功したらパフォーマンスを行う
→任意でシンフォニー、思い出の使用。
→パフォーマンス値の分、ファンが増加します。
→開幕は全員参加です。

●幕間
→全員のメンタルが 1D6 回復。
ギターを抱えたミツルが息を切らせながらやって来ます。
ミツル「間に合った！　プロダクションの最高のメンバーを連れてきたよ。最終演目は俺達のバンドに伴奏させてもらう。もちろん、主役は君たちだ。最高の音、聞かせてくれよ！」
→ミツルからの差し入れとして、キャラアイテムを人数分＋1
→また、P はいずれかを選びます。
《信頼：ランダムに選んだ特技で判定、成功した PC のメンタル 6 点回復》
《回想：ランダムに選んだ特技で判定、成功した PC の【理解度】のチェックを1つ選びはずします》
《祈る：好きな特技で判定し、成功した場合 P の変調を回復します》

→後半は4D6のプレッシャーを受けます。
→出演しないPCは演目ごとに1D6のメンタルを回復します。
→指定特技で判定
→成功したらパフォーマンスを行う
→任意でシンフォニー、思い出の使用。
→パフォーマンス値の分、ファンが増加します。
→終幕は全員参加です。

・最終演目で作詞が成功していた場合
→せーの、でPCに完成した歌詞を叫んで貰います。
　これによりファンパワーを発揮します。

最終演目を終えたら、メンバーにシメの挨拶を一言ずつ
お願いしてステージは終了します。
ギターの演奏を終えたミツルが、去り際にこちらへ向かって
笑顔でピースを見せます。

●リザルトフェイズ
追加ファンを決定しPCのアイドルランク変更を行います。
・ファンが一番多いPC
・メンタルが一番多いPC
・スペシャルが一番多いPC
・ファンブルが一番多いPC
・ミラクル・ミラクルシンクロが一番多いPC
・パーフェクトミラクルが一番多いPC
条件を満たすたび1D6を振ります。

●大成功をした場合（ファン数240～）
ライブは大成功となりました。予想以上のファンがつき、次のライブはまだかと事務所にひっきりなしに連絡が入ります。
ユニットの輝かしい未来への一歩が開けました。
そんな中、ミツルが笑顔で事務所を訪ねてきます。
ミツル「こんなすごい新人見たことないよ！　きっと君たちは、このプロダクションを率いる新たな星になる。またライブがあったら呼んでくれ。一緒に最高のステージを奏でよう！」
ファンと先輩を味方につけ、ユニットはこれからも邁進していくことでしょう。
→【獲得ファン人数】が一番多いPCは、GMに「お願い」ができます。
→プロダクションレベルを+2します

●成功（ファン数120～）
ライブは成功を収めました。少なからずファンもつき、舞い込む仕事に事務所は少しずつ忙しくなってきます。
そんな中、ミツルが事務所を訪ねてきます。
ミツル「おつかれさま。ライブ、楽しかったよ。君たちが新しい風を吹き込んでくれた。俺もやる気が出てきたよ。また、一緒に曲を作ろう」
ファンと先輩を味方につけ、ユニットはこれからも邁進していくことでしょう。
→プロダクションレベルを+1します

●失敗（ファン数120未満）
残念ながら、PCの活躍は全く話題になりませんでした。
プロダクションはこのままアイドル部門を続けるのかどうか、議題に上げられてしまいました。
事務所を訪ねてきたミツルがPCを励まします。
ミツル「はじめてのライブだったし緊張していたから仕方ないよ。俺も楽しかった。俺はバンドの活動に戻るから一緒のステージに立つ事はもうないけれど、同じ事務所の先輩として応援しているよ。それじゃあね！」

失敗はPCたちに多くの経験をもたらしました。それらは糧となり、彼らはまた各々頑張れることでしょう。
→プロダクションレベルを-1します

→【獲得ファン人数】【思い出】【メンタル】のリセットを行います。
→【アイテム】【理解度】は持ち越しません。

処理を行ったあと衣装チケットを配布して終了となります。
お疲れさまでした。

セッション初出：2015/09/25
シナリオ作成：@natsu_cs620g

NPCキーパーソン　音城ミツル(19)
プロダクション所属のギタリスト。174cm
身体的特徴はくせっ毛、ファッション特徴はマフラー。
好きなものは猫、嫌いなものは説教。
能力値はパッション/集中力/空白：オタク/ゲーム/関東地方。
個性特技はゲーム。
ボイス特化で、背景は「モテたい」。
「いい友達でいましょう」で終わるタイプ。童貞。
好みの女性のタイプは暁美ほむら。